

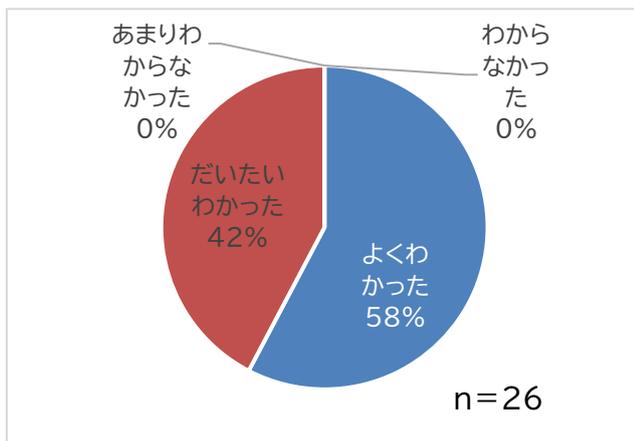
紙のリサイクル、森のリサイクル

王子ホールディングス株式会社

概要：

はじめに、新聞紙、まんが、段ボールは何にリサイクルされるのかクイズで楽しみながら確認しました。世界では森が減少していることから、「木を使うための森」と「自然の森」を分け、「使うための森」は8年周期で計画的に植林～伐採をしています。子どもたちは、紙の工程の木材チップやパルプ、プラスチックに代わる紙製品として紙ストローや食品の包装紙などの実物を見たり触ったりする体験をしました。そして、森林資源の保護とともに、世界の問題解決に向けた紙製品の開発に努力する企業の取組を理解しました。

授業の理解度：



感想

- ・ わたしが心に残ったことは、使う用の森と自然の森に分けていることです。そして、1年ずつずつ植えているということにおどろきました。わたしは、1年の間に一気に植えて一気に切っていると思っていたからです。
- ・ 森を8等分して8年ぐるぐる木を切っていくことを知ってびっくりしました。紙をおだづかいしないようにしたいです！
- ・ 紙をつくる時のと中のものを持ってきてもらってさわることができた！紙のつくり方が今わかった！
- ・ プラスチック製品ではなくてなるべく紙のものを買おうと思った。FSC マーク、みじかなものについていてびっくりした。買い物にいった時に FSC マークをさがしてみようと思った。
- ・ プラスチック製品を紙製品にする取り組みは知っていたが、すでに実用化されている物があるとは知らなかった。森を守りつつ使っていく取り組みが、自然を守りながら資源も取っていていいと思いました。

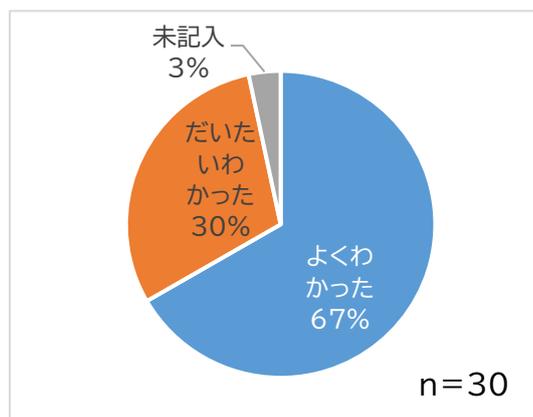
トンボ鉛筆の環境への取り組み～文具でエコ～

株式会社トンボ鉛筆

概要：

企業の事業について簡単にお話をいただくと子供たちは筆箱やお道具箱の中からトンボ鉛筆さんの商品を楽しそうに探し始めました。その後、動画で工場見学体験をして何を作っている工場なのかを考えながら視聴しました。動画の工場見学で見た木を原料としている鉛筆について、世界の問題とつなげ、木をつかっている身近なものを探して森の木を切って使うことはいけないことなのかを考えました。最後に消費者の行動が企業を動かす力があることをみんなで共有しました。

授業の理解度



感想

- ・ 森林ばっさいのこと調べたけどもっとふかくまなべた。
- ・ かんきょうにいい商品を選ぶことで地球を守ることができ、世界中の困っている人をたすけることができる。私はかんきょうにはいりよしたせいひんを買い、いろいろ協力したいです。他にも私ができることを積極的に取り組みたいです。木の大切さを知って楽しかった。
- ・ 木にはプラスチックや鉄にはない特ちょうがあった（軽い、環境に良い、がんじょう、長く使える、再利用できる、あたたかいなど）森林を大切にするために自分ができることがあると知ったから取り組んでいきたい。えんぴつのしんが曲がることを知ってびっくりした。一回で9本？くらいのえんぴつを作れることが分かった（1本ずつ作らない）
- ・ マークのついたしょうひんをかおうと思いました。
- ・ ぼくは今までかんきょうの事は考えたことがなかったので考えてみたいと思いました。